



「イベント」

鉄人 雨の西海路を駆ける

6月4日(土)、県内唯一のトライアスロン連合公認大会となっている第5回愛南町いやしの郷トライアスロン大会(主催:愛南町いやしの郷トライアスロン大会実行委員会・愛南町)が西海地域で開催されました。今年

は全国から330名が出場して国内屈指ともいわれるアップダウンの激しい難コースに挑みました。

当日はあいにくの雨となりましたが、悪条件をものともせず力の限界に挑む選手のみなさんに沿道からは大きな声援や拍手が送られました。



大漁旗設置
船越地区では、毎年大漁旗を掲げて大会を盛り上げています。今年も漁師さんに借りるなどして約50枚の大漁旗を用意。会場を鮮やかに飾りました。

また、今大会は約900名のボランティアスタッフが大会運営を支えました。途切れることのない応援が選手を支え、大会を盛り上げました。

大会結果は左記のとおり(男女総合 上位3位までを掲載) ※大会結果の詳細は、大会ホームページ(<http://ainantriathlon.jp/>)をご覧ください。

【男子】			
1位	平松幸紘 (愛媛県)	2時間 1分40秒	
2位	小林大哲 (愛媛県)	2時間 3分50秒	
3位	三宅真一 (香川県)	2時間13分01秒	
【女子】			
1位	田中麻優 (愛媛県)	2時間29分37秒	
2位	松本華奈 (愛媛県)	2時間33分39秒	
3位	北吉舞 (香川県)	2時間36分44秒	



スタート前、シュプレヒコールで選手を奮い起こす大西洋さん(福浦出身)



スイムを終えてバイク競技へ向かう途中、笑顔で応援に応える選手



御荘中学校は「復興支援ブース」を出して東北地方と熊本地方を応援しました。

感謝状を携えて大会出場

福島県川俣町から参加した井上淑郎さんは、大会前日に愛南漁協(立花弘樹組合長)と愛媛県魚類養殖協議会の竹田英則会長が組合長を務める久良漁協を訪れて、福島県川俣町教育委員会からの感謝状を届けました。同漁協と同協議会は、東日本大震災で被災した子どもたちを応援しようと2012年から養殖マダイやブリを学校給食用に無償で提供し、その後も「ぎよしよく出前授業」等を通じて川俣町と交流を続けています。



感謝状を手に笑顔を見せる井上淑郎さん(左)と愛南漁協立花組合長



フィニッシュの歓びを全身で表現



女子初優勝を飾った田中麻優選手（日本食研トライアスロン部）



圧倒的な強さで2年ぶりに男子総合を制した平松幸紘選手（日本食研トライアスロン部）



船越小学校の児童は、フィニッシュした選手に手作りの完走賞を贈りました。



雨の中、懸命に自転車をこぐ選手



「愛南サイコー!」



レースNo.4054

福元哲郎選手
(広島県)

第1回大会以来、大事な大会に重なって参加できなかったのですが、自分の顔を覚えてくれていて地元の方が声をかけてくれます。うれしいですね。
自分は40歳を超えた今も日本代表の選手になることを夢として追っています。
今日もたくさんの子どもたちが見てくれていますが、これからも競技を通じて子どもたちに「諦めなければ夢100%」という言葉をお届けしたいと思います。



高校の同級生で現在は別々のトライアスロン部に所属する柳瀬選手と新堂選手

レースNo.1802 柳瀬興汰選手
(近畿大学)

レースNo.1803 新堂弘貴選手
(大阪体育大学)

この大会が世界大会につながるポイント対象大会であることと、目前に迫ったインカレ予選に向けたトレーニングとして出場しました。

コースは高低差があり、上りがきつかったけど、町の人や子どもたちの温かい応援が励みになりました。
出場して良かったです。